を性でも約1分ほどで簡単に開 を性でも約1分ほどで簡単に開 を性でも約1分ほどで簡単に開 を性でも約1分ほどで簡単に開 を性でも約1分ほどで簡単に開 とテロ対策用に作ったものではとして開発したもので、もとも 線類を地中化する「電線共同溝」もそも電話線などさまざまな電 です。

は1本で6000回線分の情報は1本で6000回線分の情報は1本で6000回線分の情報量を持ち、金融決裁や秘密保持などにも使われる重要なインフラのため、保護には強固なものが要求されます。米国では20では多たの開閉が簡単なため、安全面で問題がありました。といますが、これまでのマンホールますが、これまでのマンホールを狙ったサイバー・要品は、政府機関や軍事施設、安港など重要な施設に取り付けられます。打ち合わせやり付けられます。打ち合わせや

ることも十分可能なんです。 はかし、アンテナを高く張って しかし、アンテナを高く張って はも確かにあるかもしれません。 など、地方の弱 ることも いれば、...

世ア > のテ 土ナ 俵に高 打く っ持 てっ 出 て るい ح n ば 2 ŧ 可

会に、この製品を出る。 2年1月 認定のきっかけは、20年1月 見を挟みこむ心配もありません。 でもます。閉じるときも、自 受けることができました。 を経ましたが、その苦労の ました。審査は約1年半にも及官から認定申請を強く勧められ 終わりの って、ことし8月に認定をましたが、その苦労のかい終わりの見えないやりとりだい。審査は約1年半にも及 そこで出会った、同省高 り上げを見込んでいます。 りのやり取りが必要だと思いま りのやり取りが必要だと思いま

思っています。マンホールのふまったものである必要はないとであれ」。必ずしも決まり決 は大企業がやることですので。電線共同溝がメーンですが、ハイブリット発電装置や各種機械イブリット発電装置や各種機械の設計・加工など、依頼に応じて何にでも取り組みます。 しながらやっていこう」と思っ「いろいろなことにチャレンジ判断する必要はありません。 です。「経験や過去のデータ」でたも発想を変えて生まれたもの います。

この製品は、

埋蔵された光

打って出ることが可能です。市り、技術を持っていれば世界にという見方もあるかもしれませという見方もあるかもしれませ っている会社はため中小企業でも立 たくさん 良 くさんありれてい技術を

打っ

●㈱タカシュウ 代表取締役

昭和22年生まれ。青森県立八 戸高卒。公務員や民間企業の

高橋秋雄さん(62) =水沢区真城字熊ノ堂=

営業技術職を経て、同53年水 沢区東大通に高橋ボール トを設立。同56年㈱タ カシュウに社名変更。平 成13年業務拡張のため、 現在地 (水沢工業団地) へ移転。



す。「何十年先を見て」というのしてやっていこうと思っていまわれることの4、5年先を先行ていることの4、5年先を先行のが社は、世の中で要求され





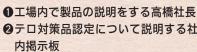


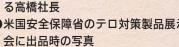
高橋社長にお話しを聞きました。

- ❸「省力型マンホール蓋」の実演をす る高橋社長
- 4米国安全保障省のテロ対策製品展示

ム)が、米政府のテロ対策法製品の認定を受けました。認定はでの製品名:マンホール・カバー・セキュリティー・システ取締役、社員43人)が開発した「省力型マンホール蓋」(海外 企業では同社が初。数年後には約15億円の売り上げを見込む、供給できます。今回認定を受けたのは世界で4社のみで日本テロ対策に使う技術や資材が対象で、認定されると独占的に この技術を開発した、 水沢区の機械開発設計製造業、㈱タカシュウ(高橋秋雄代表

内掲示板





母桜木橋からほど近い場所にある社屋

